




令和 4 年度 施策評価表

施策	1602 観光客受入体制の整備	施策担当部	産業振興部	部長	下玉利 輝幸
		施策担当課	観光振興課	課長	上野 秀徳
施策の方針	自然や歴史を活かした観光地の魅力向上や、Wi-Fi環境等の整備に努める。また、情報発信やプロモーション活動の強化を図るとともに、観光推進体制の充実と人材育成に努める。				
関連するSDGsのゴール	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも 経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナーシップ で目標を達成しよう</p> </div> </div>				

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R3年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 市内主要観光施設の入場者数	人/年	650,000	660,000 550,224	670,000	680,000	690,000	700,000	83.4%	78.6%
② 外国人宿泊者数	人/年	7,226	7,484 213	7,613	7,742	7,871	8,000	2.8%	2.7%
③ 観光ボランティアガイドの会員数	人	24	26 18	26	27	28	30	69.2%	60.0%
④									
⑤									

施策達成状況の説明

- ①市内主要観光施設（大村公園、野岳湖公園、琴平スカイパーク及び裏見の滝自然花苑）の入場者数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける形で客足が伸び悩み、目標を下回っているものの、コロナ禍でのキャンプや屋外施設が人気となっていることが影響し、令和2年数493,596人と比較すると約5万6千人増となった。
- ②外国人宿泊者数は、新型コロナウイルス感染対策として政府による外国人の入国制限が実施され、訪日外国人の減少や、長崎空港の国際便運休の影響もあり、目標を大きく下回った。
- ③観光ボランティアガイド会員数は、会員の高齢化に伴う退会等により、令和2年度23名から5名減となった。その後、新規入会者の確保までには至らず、目標を下回った。

施策経費

(単位:千円)		R3年度 決算	R4年度 予算	R5年度 見込	特記事項
内訳	事業費	134,731	75,374	76,014	
	国庫支出金	258	432	433	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	60,800	0	0	
	その他	1,592	8,518	3,417	
	一般財源	72,081	66,424	72,164	
	人件費	22,343	22,958	—	
フルコスト		157,074	98,332	—	

施策の概要（細施策）

160201	観光地の魅力向上	大村公園をはじめとする自然豊かな観光地の魅力向上を図るため、「オオムラザクラ」や「クシマザクラ」、季節の花々などを植栽するなど、四季を通して楽しめる取組を推進します。 また、日本遺産に登録されたシュガーロード（長崎街道）をはじめ、玖島城跡や武家屋敷街、日本初のキリシタン大名「大村純忠」、天正遣欧少年使節など、各種の観光資源の効果的な活用を図るとともに、市民にも親しまれる魅力ある観光地づくりを進めます。
160202	観光基盤の整備	市内を訪れる観光客が安心して快適に観光できるよう、Wi-Fi環境、トイレ、駐車場など計画的な基盤整備に努めます。 また、アウトドアアクティビティを推進するため、関連施設の整備を促進します。
160203	情報発信・プロモーション活動の強化	国内外の観光客の誘客を図るため、ホームページやパンフレット、ガイドブックなど各種広報媒体を整備し、インバウンド対策として、多言語による情報発信やPRを強化します。 また、ターゲットを明確にした、きめ細かで戦略的なプロモーション活動を強化します。
160204	観光推進体制の充実と人材育成	市民や観光関連団体、ホテルや飲食店等の事業者、行政など、官民一体となった観光地域づくりを推進します。 また、観光客の受入環境の強化を図るため、修学旅行の実施に対する助成等を行うとともに、観光ボランティアガイドの養成など観光人材の育成に努めます。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

観光地の魅力向上は、大村公園や玖島城跡、キリシタン大名などの本市ならではの歴史、文化や自然の観光資源に加え、日本遺産に認定されたシュガーロードや本年9月23日の新幹線開業、新幹線車両基地による新たな観光素材を活用した魅力ある取り組みが必要である。

観光基盤の整備は、訪れた観光客が快適に旅行ができるようWi-Fi環境整備、看板等観光情報の更新が必要である。

情報発信・プロモーション活動の強化は、国内外の観光客の誘客を図るため、市ホームページや本年5月から開始したSNS等（インスタ）を活用した情報発信、ガイドブック等と市観光振興課観光サイトの更新を進める必要がある。

観光推進体制の充実、ワーケーションの検証によるR3年度の課題である広域周遊や交通機関の利用方法を改善すること、修学旅行については、令和2年度10校、令和3年度19校の助成実施で増加しているものの引き続き、観光客の誘客に取り組む必要がある。また、人材育成については、インバウンドの対応を含めた観光ボランティアの新規入会者を促進するなど充実させる必要がある。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

観光地の魅力向上は、本市における既存の観光資源の磨き上げと、新たな観光素材である新幹線新大村駅、新幹線車両基地を活用した魅力ある取り組みを推進する。

観光基盤の整備は、本市を訪れた観光客が快適な観光を実現するため、主要観光地のWi-Fi環境整備のほか観光マップの見直しや大村公園のトイレの計画的な改修などハード面の整備を行う。

情報発信・プロモーション活動の強化は、コロナ過においてマイクロツーリズム（近場観光）が注目されるなど、旅のスタイルが変化していることから、地元観光素材を再認識し、国内旅行者や特に県内旅行者をターゲットに情報発信を強化する。

観光推進体制の充実と人材育成については、新型コロナウイルス感染症収束後の交流人口の増加を見据え、ワーケーションを活用する上で必要となる受け皿づくりのほか、インバウンドへの対応を含めた観光ボランティアの新規入会者を促進するなど、国内外からの観光客受入体制を構築する。

令和5年度新規事業

	事業名	担当課	令和5年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	